

# 歯科患者を診るためのイントロダクション (IDP : Introduction to the Dental Patient)

(H26 年 9 月 1 日～10 月 8 日)

コース責任者 (主) 工藤義之、小豆島正典、野田守

## 担当講座 (分野) 担当 Director

- : 歯学教育部門 (ODE) 長 佐藤和朗准教授
- : 総括科目責任者全コース主責任者 鬼原英道准教授
- : 歯科保存学講座 (う蝕治療学分野) 工藤義之准教授
- : 口腔顎顔面再建学講座 (歯科放射線学分野) 小豆島正典教授
- : 口腔機能保存学講座 (歯周療法学分野) 村井治助教
- : 補綴・インプラント学講座 金村清孝講師
- : 口腔顎顔面再建学講座 (口腔外科学分野) 星秀樹准教授、青村知幸助教、八木正篤助教
- : 口腔顎顔面再建学講座 (歯科麻酔学分野) 佐藤雅仁准教授
- : 口腔医学講座 (予防歯科学分野) 阿部晶子講師
- : 口腔保健育成学講座 (歯科矯正学分野) 間山寿代助教
- : 口腔保健育成学講座 (小児歯科学分野) 田中光郎教授
- : 解剖学講座 (機能形態学分野) 藤村朗教授
- : 解剖学講座 発生生物・再生医学分野 藤原 尚樹准教授
- : 微生物学講座 (分子微生物学分野) 下山佑助教
- : 生理学講座 (病態生理学分野) 成田欣弥講師
- : 医療工学講座 齋藤設雄講師

第 3 学年 後期

講義 72 時間  
実習・他 61.5 時間

## 一般目標 (講義・実習)

歯科患者を診察するために歯科医師として必要な基本的な知識、技術、態度を修得する。

## 講義・実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9 月 1 日 (月) 1 限	ODE 佐藤和朗准教授 (歯学教育部門長)  1 コース主責任者 工藤義之准教授	<b>1～7 コースと 1 コースの概要</b>  1～7 コースと 1 コースの内容と合格基準について理解する。	1. 1～7 コースの目標をについて説明できる。 2. 1～7 コースの概要を説明できる。 3. 1～7 コースの評価法について説明できる。 4. 1 コースの目標について説明できる。 5. 1 コースの内容について説明できる。 6. 1 コースの実習について説明できる。 7. 1 コースの評価法について説明できる。
9 月 1 日 (月) 2 限	工藤義之准教授 熊谷啓二助教 浅野明子助教 千葉史子助教 (う蝕治療学) 阿部晶子講師 (予防歯科学)	<b>診療姿勢 実習室 (矢巾)</b>  正しい診療姿勢について理解する。	1. 適切な診療姿勢をとることができる。 2. ドクターズツールの高さを調節できる。 3. ホームポジションをとることができる。 4. ハンドピースの 3 種の持ち方を説明できる。 5. レストの置き方を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月1日(月) 3,4限	若林香枝助教 (歯科矯正学)  東海林理講師 (歯科放射線学)  南 健太郎助教 (予防歯科学)  工藤義之准教授他 (う蝕治療学)	<b>実習説明(矢巾) 印象と模型作製</b>  印象採得法と研究用模型作製法について理解する。  <b>歯科診療におけるエックス線撮影 実習説明</b>  口内法エックス線撮影の手技を習得する。  <b>口腔内写真撮影実習説明</b> 相互実習により口腔内写真撮影を行い、その写真から現在の歯、歯周組織の状態を患者に説明できる。  <b>グループ学習 (課題提示)</b>	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 印象採得を実施できる。 4. 研究用模型の作製法を説明できる。  1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 5. 最終発表について説明できる。  1. 相互に口腔内写真を撮影できる。 2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。  1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。
9月2日(火) 1限	藤原尚樹准教授 (発生物・再生医学)	<b>歯周組織の構造について</b>  (口腔内診査, 研究用模型、エックス線検査に関係する組織構造を理解する。)	1. 歯周組織の構造を説明できる。 2. セメント質・歯根膜・歯槽骨の関係を説明できる。 3. セメントエナメル境、接合上皮の構造について説明できる。 4. 歯槽骨の構造とエックス線写真との関連を説明できる。
9月2日(火) 2限	安藤禎紀助教 (機能形態学)	<b>解剖学(口腔内臓) 口腔粘膜表面構造と骨学 エックス線解剖学</b>  骨の構造、粘膜下組織の構造がどのように粘膜表面に描出されているかを理解する。	1. 口腔粘膜の表面構造を説明できる。 2. 粘膜下の骨構造を説明できる。 3. 粘膜下組織の構造を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月2日(火) 3限	齋藤設雄講師 (医療工学)	<b>口腔状態の記録に用いる歯科材料①</b>  印象と模型の製作に用いる歯科材料の種類と、精密な口腔内模型を作製するための取り扱い上の留意点を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔内模型作製の目的を説明できる。</li> <li>2. 口腔内模型作製の工程と用いる材料(印象材、石膏)を説明できる。</li> <li>3. 模型の用途に応じた印象材、石膏の選択を説明できる。</li> <li>4. 印象採得の技術に関わる諸因子(トレーの種類と取り扱い、印象材の物性)を説明できる。</li> <li>5. 石膏の取り扱いに関する技術上の留意事項(練和、注入、消毒、保管)を説明できる。</li> </ol>
9月2日(火) 4限	下山 佑助教 (分子微生物学)	<b>インフェクションコントロール</b>  歯科治療に必要な滅菌消毒法および感染予防について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染について説明できる。</li> <li>2. 主要な滅菌消毒法の種類と概要を説明できる。</li> <li>3. 清潔域, 不潔域について説明できる。</li> <li>4. 主要な微生物の感染経路とその遮断法を説明できる。</li> </ol>
9月3日(水) 1, 2限	三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗准教授 飯塚康之助教 ※間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 山田裕之助教 (歯科矯正学)  南 健太郎助教 (予防歯科学) 阿部晶子講師  東海林理講師 (歯科放射線学)  工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>グループ別実習(内丸)</b> <b>G1: 印象&amp;模型作製(外来)</b>  印象採得法と研究用模型作製法について理解する。  <b>G2: 口腔内写真撮影実習</b> 相互実習により口腔内写真撮影を行い、その写真から現在の歯、歯周組織の状態を患者に説明できる。  <b>G3: 放射線(5階 会議室1、1階歯科放射線第2臨床実習室)</b>  口内法エックス線撮影の手技を習得する。  <b>G4, 5, 6 グループ学習</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 印象採得の目的を説明できる。</li> <li>2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。</li> <li>3. 印象採得を実施できる。</li> <li>4. 研究用模型の作製法を説明できる。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相互に口腔内写真を撮影できる。</li> <li>2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 二等分法を実施できる。</li> <li>2. 正放線投影を実施できる。</li> <li>3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられた課題を解決できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月3日(水) 3、4限	三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗准教授 飯塚康之助教 ※間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)  南 健太郎助教 (予防歯科学) 阿部晶子講師  東海林理講師 (歯科放射線学)  工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>グループ別実習(内丸)</b> <b>G4: 印象&amp;模型作製(外来)</b>  印象採得法と模型作製法について理解する。  <b>G5: 口腔内写真撮影実習</b> 相互実習により口腔内写真撮影を行い、その写真から現在の歯、歯周組織の状態を患者に説明できる。  <b>G6: 放射線(5階 会議室1、1階 歯科放射線第2臨床実習室)</b>  口内法エックス線撮影の手技を習得する。  <b>G1, 2, 3 グループ学習</b>	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 印象採得を実施できる。 4. 研究用模型の作製法を説明できる。  1. 相互に口腔内写真を撮影できる。 2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。  1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。  1. 与えられた課題を解決できる。
9月4日(木) 1限	野村太郎助教 (補綴・インプラント学)	<b>歯の修復・補綴が必要な患者についての導入</b>  歯の欠損と欠損補綴の基本を理解する。	1. 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化を説明できる。 2. 歯の欠損と補綴治療の目的、臨床的意義を説明できる。
9月4日(木) 2限	藤原英明助教 (歯周療法学)	<b>歯周病患者へのイントロ(リスクファクター、全身への影響)</b>  歯周病のリスクファクターと全身への影響を理解する。	1. 歯周疾患の発炎性因子を説明する。 2. 歯周疾患の外傷性因子を説明する。 3. 歯周疾患の全身的因子を説明する。 4. 歯周病のリスクファクターについて説明する。
9月4日(木) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>歯の修復が必要な患者についての導入</b>  歯の修復を必要とする疾患と治療法について理解する。	1. 歯の修復の原因を説明できる。 2. 歯の修復法を列挙し説明できる。 3. 保存修復学の概要を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月4日(木) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>歯内療法が必要な患者 についての導入</b>  歯内疾患の概要と治療法について理解する。	1. 歯内疾患の原因を説明できる。 2. 歯内療法の流れを説明できる。 3. 歯内療法学の概要を説明できる。
9月5日(金) 1限	藤村朗 教授 (機能形態学)	<b>解剖学(口腔内臓) 歯の形態①</b>  永久歯の各歯種(切歯・犬歯・小臼歯・大臼歯)の構造と特徴を理解する。	1. 中切歯と側切歯の相異点を説明できる。 2. 上顎犬歯と下顎犬歯の相異点を説明できる。 3. 第一小臼歯と第二小臼歯の相異点を説明できる。 4. 第一大臼歯と第二大臼歯の相異点を説明できる。
9月5日(金) 2限	藤村朗 教授 (機能形態学)	<b>解剖学(口腔内臓) 歯の形態②</b>  乳歯の各歯種の構造と特徴を理解し、永久歯と比較する。	1. 中切歯と乳中切歯の鑑別点を説明できる。 2. 犬歯と乳犬歯の鑑別点を説明できる。 3. 小臼歯と第一乳臼歯の鑑別点を説明できる。 4. 大臼歯と第二乳臼歯の鑑別点を説明できる。
9月5日(金) 3限	齋藤設雄講師 (医療工学)	<b>口腔状態の記録に用いる 歯科材料②</b>  印象材の組成と硬化反応を理解する。	1. ハイドロコロイド印象材の種類と組成、硬化反応を説明できる。 2. 合成ゴム印象材の種類と組成、硬化反応を説明できる。 3. 非弾性印象材の種類と組成、硬化反応を説明できる。
9月5日(金) 4限	八木正篤助教 (口腔外科学)	<b>口腔外科診断学 診察法</b>  口腔外科の診察において必要な診察法を習得する。	1. 診察法の種類を列挙できる。 2. 基本的な診察法の概略を説明できる。 3. 診察に必要な器材を列挙できる。 4. 視診の項目を列挙できる。 5. 触診の項目を列挙できる。
9月8日(月) 1限	三浦廣行教授 (歯科矯正学)	<b>歯科矯正学および歯科 矯正治療の意義</b>  歯科矯正学および歯科矯正治療の意義について理解する。	1. 歯科矯正学の定義を説明できる。 2. 歯科矯正学の目的と意義を説明できる。 3. 矯正治療の目的と意義を説明できる。 4. 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。
9月8日(月) 2限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>正常咬合と不正咬合に ついて</b>  正常咬合の概念と不正咬合の表現法を理解する。	1. 正常咬合の概念を説明できる。 2. 正常咬合が成立し保持される条件を説明できる。 3. 歯列と咬合について説明できる。 4. 不正咬合の客観的な表現法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月8日(月) 3限	工藤義之准教授他 (う蝕治療学)	<b>医療コミュニケーション1</b> <b>医療情報収集</b> (医療面接)  医療面接の目的、意義、手技を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療面接の目的と方法を説明する。</li> <li>2. 医療面接の心得を説明する。</li> <li>3. 主訴の定義、種類を説明する。</li> <li>4. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を説明する。</li> <li>5. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説明する。</li> </ol>
9月8日(月) 4限	工藤義之准教授他 (う蝕治療学)	<b>医療コミュニケーション2</b>  医療情報収集(歯科体系、専門用語、主訴、既往歴、現病歴)について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 診療録の意義を説明する。</li> <li>2. 診療録に記載する項目について説明する。</li> <li>3. 歯式の記入法を説明する。</li> <li>4. 歯式に用いる略語を説明する。</li> <li>5. 主訴の定義、種類を説明する。</li> <li>6. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を説明する。</li> <li>7. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説明する。</li> </ol>
9月9日(火) 1、2限	<p>三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗准教授 飯塚康之助教 ※間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)</p> <p>南 健太郎助教 (予防歯科学) 阿部晶子講師</p> <p>東海林理講師 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (う蝕治療学)</p>	<p><b>グループ別実習(内丸)</b> <b>G2: 印象 &amp; 模型作製</b> (外来)  印象採得法と模型作製法について理解する。</p> <p><b>G3: 口腔内写真撮影実習</b> 相互実習により口腔内写真撮影を行い、その写真から現在の歯、歯周組織の状態を患者に説明できる。</p> <p><b>G1: 放射線(5階 会議室1、1階 歯科放射線第2臨床実習室)</b>  口内法エックス線撮影の手技を習得する。</p> <p><b>G4, 5, 6 グループ学習</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 印象採得の目的を説明できる。</li> <li>2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。</li> <li>3. 印象採得を実施できる。</li> <li>4. 研究用模型の作製法を説明できる。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相互に口腔内写真を撮影できる。</li> <li>2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 二等分法を実施できる。</li> <li>2. 正放線投影を実施できる。</li> <li>3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられた課題を解決できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月9日(火) 3、4限	三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗准教授 飯塚康之助教 ※間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)  南 健太郎助教 (予防歯科学) 阿部晶子講師  東海林理講師 (歯科放射線学)  工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>グループ別実習(内丸)</b> <b>G5: 印象&amp;模型作製(外来)</b>  印象採得法と模型作製法について理解する。  <b>G6: 口腔内写真撮影実習</b> 相互実習により口腔内写真撮影を行い、その写真から現在の歯、歯周組織の状態を患者に説明できる。  <b>G4: 放射線(5階 会議室1、1階 歯科放射線第2臨床実習室)</b>  口内法エックス線撮影の手技を習得する。  <b>G1, 2, 3 グループ学習</b>	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 印象採得を実施できる。 4. 研究用模型の作製法を説明できる。  1. 相互に口腔内写真を撮影できる。 2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。  1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。  1. 与えられた課題を解決できる。
9月10日(水) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>グループ学習</b>	1. 与えられた課題を解決できる。
9月10日(水) 2限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	<b>全身疾患、全身管理と 歯科診療の関係</b>  歯科診療と全身疾患との かかわりについて理解する。	1. 歯科診療の侵襲が全身に及ぼす影響について説明する。 2. 全身疾患についての情報収集法を説明する。 3. 歯科診療時注意すべき全身疾患を列挙する。 4. 全身疾患を有する患者への対処法を説明する。
9月10日(水) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>医療コミュニケーション3 医療情報収集 医療面接</b>  医療面接の意義と実施方法を理解する。	1. 医療面接の目的と方法を説明する。 2. 医療面接の心得を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月10日(水) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>医療コミュニケーション4 患者へのアプローチ</b>  患者に対する歯科医の心構えを理解するとともに、診断の基本について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者に接するときの心構えを説明する。</li> <li>2. 良医(歯科医)の条件を説明する。</li> <li>3. 患者と疾患との関連を説明する。</li> <li>4. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。</li> <li>5. 診断に必要な診査事項を説明する。</li> <li>6. 診断の方法を説明する。</li> <li>7. 医療情報の収集法を説明する。</li> </ol>
9月11日(木) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>グループ学習</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられた課題を解決できる。</li> </ol>
9月11日(木) 3限	岸光男准教授 (予防歯科学)	<b>健康の概念・疾患の疫学</b>  健康の概念を理解する。 疾病の疫学を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康の概念を説明できる。</li> <li>2. 口腔と全身の健康との関連を説明できる。</li> <li>3. 疾病の概念を説明できる。</li> <li>4. 口腔疾患、主に齲蝕、歯周疾患の疫学的特徴を説明できる。</li> </ol>
9月11日(木) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑助教 (分子微生物学)	<b>グループ学習</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられた課題を解決できる。</li> </ol>
9月12日(金) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑助教 (分子微生物学)	<b>グループ学習</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられた課題を解決できる。</li> </ol>
9月12日(金) 3限	平雅之准教授 (医療工学)	<b>審美修復材料</b>  審美修復に用いられるレジンおよびセラミック材料について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 充填に用いる審美修復材料の種類と特徴および取扱いを説明できる。</li> <li>2. インレーに用いる審美修復材料の種類と特徴および製作法の概要を説明できる。</li> <li>3. 前装冠の前装材料の種類と特徴および金属コア、フレームへの結合方法を説明できる。</li> <li>4. ジャケット冠、セラミックフレームに用いる審美修復材料の種類と特徴を説明できる。</li> </ol>
9月12日(金) 4限	平雅之准教授 (医療工学)	<b>審美修復物の装着</b>  審美修復物の装着に用いるレジンセメントの取り扱いに関わる理工学的性質について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レジンセメントによる審美修復物装着の手順を説明できる。</li> <li>2. 装着時の歯質(エナメル質、象牙質)の表面処理を説明できる。</li> <li>3. 装着時の修復物の表面処理を材料ごとに説明できる。</li> <li>4. ボンディング材の重合方法(化学重合、光重合、デュアルキュア)と操作上の留意点を説明できる。</li> </ol>



月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月16日(火)  1、2限	三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗准教授 飯塚康之助教 ※間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)  南 健太郎助教 (予防歯科学) 阿部晶子講師  東海林理講師 (歯科放射線学)  工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>グループ別実習(内丸)</b> <b>G3: 印象&amp;模型作製(外来)</b>  印象採得法と模型作製法について理解する。  <b>G1: 口腔内写真撮影実習</b> 相互実習により口腔内写真撮影を行い、その写真から現在の歯、歯周組織の状態を患者に説明できる。  <b>G2: 放射線(5階 会議室 1、1階 歯科放射線第2臨床実習室)</b> 口内法エックス線撮影の手技を習得する。  <b>G4, 5, 6 グループ学習</b>	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 印象採得を実施できる。 4. 研究用模型の作製法を説明できる。  1. 相互に口腔内写真を撮影できる。 2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。  1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。  1. 与えられた課題を解決できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月16日(火) 3、4限	三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗准教授 飯塚康之助教 ※間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)  南 健太郎助教 (予防歯科学) 阿部晶子講師  東海林理講師 (歯科放射線学)  工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>グループ別実習 (内丸)</b> <b>G6: 印象&amp;模型作製(外来)</b>  印象採得法と模型作製法について理解する。  <b>G4: 口腔内写真撮影実習</b> 相互実習により口腔内写真撮影を行い、その写真から現在の歯、歯周組織の状態を患者に説明できる。  <b>G5: 放射線(5階 会議室 1、1階 歯科放射線第2臨床実習室)</b>  口内法エックス線撮影の手技を習得する。  <b>G1, 2, 3 グループ学習</b>	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材が説明できる。 3. 印象採得を実施できる。 4. 研究用模型の作製法を説明できる。  1. 相互に口腔内写真を撮影できる。 2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。  1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。  1. 与えられた課題を解決できる
9月17日(水) 1限	藤村朗 教授 (機能形態学)	<b>解剖学 (口腔内臓)</b> <b>歯の形態③</b>  歯と歯周組織の構造と臨床との関わりを理解する。	1. 裂溝形態とインレーの形態の関連を説明できる。 2. 歯髓腔の形態を説明できる。 3. 歯周組織の構造を説明できる。
9月17日(水) 2限	藤村朗 教授 (機能形態)	<b>機能的口腔解剖</b>  咀嚼に関わる解剖を理解する。	1. 咀嚼筋の種類と機能を説明できる。 2. 咀嚼筋に関連する骨学を説明できる。 3. 顎関節の運動を説明できる。 4. 顎関節と歯の形態、顎運動を説明できる。
9月17日(水) 3限	水城春美教授 (口腔外科学)	<b>口腔外科序論</b>  口腔外科の概要について理解する。	1. 口腔外科学の体系を概説できる。 2. 歯科医療における口腔外科学の意義を述べることができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月17日(水) 4限	水城春美教授 (口腔外科学)	<b>歯科医療における安全性への配慮と危機管理</b>  安全性の確保	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全管理に関する用語について説明できる。</li> <li>2. 歯科医療における事故の特異性を説明できる。</li> <li>3. 医療業務における多職種の間与について説明できる。</li> <li>4. 医療現場における報告・相談・診療録記載の重要性について説明できる。</li> <li>5. 医療安全に関する情報の共有・分析の重要性を説明できる。</li> <li>6. 医療機関における医療安全管理体制について概説できる。</li> <li>7. 院内感染の原因、回避の方法を概説できる。</li> </ol>
9月18日(木) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>医療コミュニケーション5 診療録の記載</b>  診療録の意義、質の高い診療録の記載方法を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. POSについて説明する。</li> <li>2. SOAPについて説明する。</li> <li>3. 診療録と医療訴訟説明する。</li> </ol>
9月18日(木) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>医療コミュニケーション6 患者へのアプローチ</b>  患者に対する歯科医の心構えを理解するとともに、診断の基本について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者に接するときの心構えを説明する。</li> <li>2. 良医(歯科医)の条件を説明する。</li> <li>3. 患者と疾患との関連を説明する。</li> <li>4. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。</li> <li>5. 診断に必要な診査事項を説明する。</li> <li>6. 診断の方法を説明する。</li> <li>7. 医療情報の収集法を説明する。</li> </ol>
9月18日(木) 3限	田邊憲昌助教 (補綴・インプラント)	<b>下顎運動概論</b>  下顎位と下顎運動を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 咬頭嵌合位と偏心位を説明できる</li> <li>2. 下顎安静位の定義と臨床的意義を説明できる。</li> <li>3. 下顎限界運動と機能運動を説明できる。</li> </ol>
9月18日(木) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>顎運動に関与する感覚(顎間関係)</b>  顎運動によって生じる感覚と顎運動を調節する感覚について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 咬合および咀嚼に関与する感覚の受容器と伝導路を説明できる。</li> <li>2. これらの感覚が咀嚼運動に及ぼす影響について説明できる。</li> <li>3. 下顎安静位の維持に働く感覚と反射について説明できる。</li> </ol>
9月19日(金) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑助教 (分子微生物学)	<b>グループ学習</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 与えられた課題を解決できる。</li> </ol>
9月19日(金) 3限	青村知幸助教 (口腔外科学)	<b>顎関節疾患の概論</b>  顎関節に生じる疾患について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎関節疾患の分類を列挙できる。</li> <li>2. 顎関節疾患の病態を説明できる。</li> <li>3. 顎関節症の診断基準を説明できる。</li> <li>4. 顎関節症の症型分類を説明できる。</li> </ol>

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月19日(金) 4限	熊谷章子助教 (口腔外科学)	<b>口腔顔面痛患者のイントロ</b>  口腔顔面痛について理解する。	1. 口腔顔面痛発症の機序を説明できる。 2. 口腔顔面痛を起こす疾患を列挙できる。 3. さまざまな疼痛の違いを説明できる。
9月22日(月) 1、2、3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 下山 佑助教 (分子微生物学)	<b>グループ学習</b>	1. 与えられた課題を解決できる。
9月24日(水) 1、2、3、4限	東海林理講師 (歯科放射線学)  三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗准教授 飯塚康之助教 ※間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)  南 健太郎助教 (予防歯科学) 阿部晶子講師	<b>実習試験① (内丸)</b>  <b>口内法エックス線撮影 (1階 歯科放射線第2臨床実習室)</b>  <b>印象採得 (外来)</b>  <b>口腔内写真撮影実習</b> 相互実習により口腔内写真撮影を行い、その写真から現在の歯、歯周組織の状態を患者に説明できる。	以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。  以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。  以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 相互に口腔内写真を撮影をできる。 2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。
9月25日(木) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>グループ学習発表会 (矢巾)</b> <b>グループごとに発表</b> 1班 20分×6 質疑 5分×6  <b>まとめ</b>	1. 与えられた課題を解決できる。 2. 調べたことを聞き手に解りやすく説明できる。
9月25日(木) 3、4限	野田守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 千田弥栄子助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>実習 (矢巾)</b> <b>医療コミュニケーション実習①</b>  医療面接を実施する技術、態度を修得する。 (実習室)	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月26日(金) 1限	田中光郎教授 (小児歯科学)	<b>小児歯科の導入、行動 アセスメント(小児) 口腔診査</b>  小児の特徴を把握し、 それに対応した歯科医 療を理解する。	1. 小児歯科の目的を説明できる。 2. 小児の歯科保健医療を説明できる。 3. 歯科診療に対する小児の心理反応を説明できる。 4. 小児に対する一般的な対応法を列挙できる。 5. 小児の口腔診査の内容を説明できる。
9月26日(金) 2限	星秀樹准教授 (口腔外科学)	<b>顎口腔領域の悪性腫瘍 (概論)</b>  顎口腔領域の悪性腫瘍 の特徴について習得す る。	1. 顎口腔領域の悪性腫瘍の臨床的特徴を説明できる。 2. 顎口腔領域の悪性腫瘍の治療法を説明できる。
9月26日(金) 3、4限	小豆嶋正典教授 (歯科放射線学) 世良耕一郎教授 寺崎一典講師 (サイクロトロン センター)	<b>サイクロトロンセンタ ー見学</b> <u>12:50</u> <u>矢巾キャンパスより貸 し切りバスで移動</u>  放射線同位元素(RI)に ついての基礎的知識と PET、PIXEの原理につい て習得する。	1. 核医学検査の概要を説明できる。 2. RI、ベクレル(Bq)、キュリー(Ci)について説明できる。 3. PET、PIXEについて説明できる。 (サイクロトロンセンターの見学を行う。)
9月29日(月) 1、2、3、4限	東海林理講師 (歯科放射線学)  三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗准教授 飯塚康之助教 ※間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)  南 健太郎助教 (予防歯科学) 阿部晶子講師	<b>実習試験②(内丸)</b>  <b>口内法エックス線撮影 (1階 歯科放射線第2 臨床実習室)</b>  <b>印象採得(外来)</b>  <b>口腔内写真撮影実習</b> 相互実習により口腔内 写真撮影を行い、その 写真から現在の歯、歯 周組織の状態を患者に 説明できる。	以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。  以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。  以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 相互に口腔内写真を撮影をできる。 2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月30日(火) 1、2限	東海林理講師 (歯科放射線学)	<b>グループ実習発表会 放射線撮影(矢巾)</b> グループごとにエックス線を読影し発表 1班20分×6 質疑  <b>まとめ講義</b> 口内法エックス線撮影の手技を習得する。	1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。  1. 与えられた課題を解決できる。
9月30日(火) 3、4限	野田守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 千田弥栄子助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>医療コミュニケーション実習②(矢巾)</b>  医療面接を実施する技術、態度を修得する。 (実習室)	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。
10月1日(水) 1、2限	間山寿代助教 (歯科矯正学)	<b>グループ実習発表会 印象&amp;模型作製(矢巾)</b>  グループごとに作製した模型をもとに発表 1班20分×6 質疑  <b>まとめ講義</b> 印象採得法と模型作製法について理解する。	1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 採得した印象を評価することができる。 3. 作製した研究用模型を評価することができる。
10月1日(水) 3、4限	南 健太郎助教 (予防歯科学)	<b>グループ実習発表会 (矢巾)</b>  グループごとに撮影した口腔内写真をもとに発表 1班20分×6 質疑  <b>まとめ講義</b> 口腔内写真撮影法を理解する。	1. 相互に口腔内写真を撮影できる 2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態を説明できる。
10月2日(木) 3、4限	野田守教授 工藤義之准教授 熊谷啓二助教 千田弥栄子助教 浅野明子助教 岡田伸男助教 志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>医療コミュニケーション実習試験(矢巾)</b>  医療面接を実施する技術、態度を修得する。 (実習室)	1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月3日(金) 3、4限	東海林理講師 (歯科放射線学)  三浦廣行教授 清野幸男准教授 金野吉晃講師 佐藤和朗准教授 飯塚康之助教 ※間山寿代助教 水川卓磨助教 若林香枝助教 (歯科矯正学)  南 健太郎助教 (予防歯科学) 阿部晶子講師	補足実習（内丸） 該当者のみ それ以外は出席確認の み（方法は後ほど通達）  口内法エックス線撮影 （1階 歯科放射線第2 臨床実習室）  印象採得（外来）  口腔内写真撮影実習 相互実習により口腔内 写真撮影を行い、その 写真から現在の歯、歯 周組織の状態を患者に 説明できる。	以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。  以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備でき る。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うこ とができる。  以下の項目を規定時間内に実施できる 1. 相互に口腔内写真を撮影をできる。 2. 撮影した写真から、現在の口腔内の状態 を説明できる。
10月6日(月) 1、2限		自主学習 出席確認なし	
10月6日(月) 3、4限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	補足実習（矢巾） 医療コミュニケーション実習  該当学生以外は 自主学習 （外来）	1. 指定されて時間内に、初診時医療面接を 行うことができる。
10月7日(月) 1、2限		自主学習 出席確認なし	
10月7日(火) 4限		自主学習 出席確認なし	

コース最終試験

月 日	担 当		
10月8日(水) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	最終試験 1	講義内容ならびに関連項目
10月8日(水) 3、4限 *	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	最終試験 2	実習内容ならびに関連項目 グループ学習ならびに関連項目

(\* : コースアンケート実施)

教科書・参考書 (教 : 教科書 参 : 参考書 推 : 推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	保存修復学 21 4版	赤峰昭文ほか	永末書店	2011年
教	保存修復学 6版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2013年
教	保存修復クリニカルガイド 2版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2009年
教	歯内治療学 4版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2012年
教	臨床歯周病学 2版	吉江 弘正ほか 編	医歯薬出版	2013年
参	標準歯周病学第4版	嶋井 久一ほか 編	医学書院	2005年
参	失敗しない歯周外科：キュレット ターゲットから再生療法まで	小方 頼昌・國松 和司 著	クインテッセンス出版	2007年
推	歯周病学用語集 第2版	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2013年
推	審美再建歯周外科カラーアト ラス第3版	E.S.コーエン 編 嶋井久一 監訳	西村書店	2009年
推	臨床歯科理工学	宮崎隆ほか編	医歯薬出版	2006年
推	院内感染防止マニュアル IV	岩手医科大学付属病院歯科医 療センター院内感染予防対策 委員会	岩手医科大学付属 病院歯科医療セン ター院内感染予防 対策委員会	
教	歯科矯正学 第5版	相馬邦道ほか 編	医歯薬出版	2008年
参	チェアサイド・ラボサイドの矯 正装置ビジュアルガイド	後藤滋己ほか 編	医歯薬出版	2004年
参	矯正装置の製作ガイド —基礎知識と技工—	Brian D. Willison ほか著、 北總征男ほか監訳	東京臨床出版	2005年
参	メディカル・インタビューマニ ュアル第3版：医師の本領を生 かすコミュニケーション技法 第3版	福井次矢 監修	インターメディカ	2002年
参	POSによる歯科診療録の書き方	日野原 重明 監修	医歯薬出版	2005年
参	臨床口腔診断学	内山 洋一ほか編	国際医書出版	1994年
参	総合口腔診断学	増田 屯 編	砂書房	1996年
参	でんたるこみゆにけーしょん： 歯科医療面接総論	山田 隆文	学建書院	2007年



	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	小児の口腔科学 3版	前田 隆秀ほか 著	学建書院	2013年
参	小児歯科学 総論・各論全2巻	山下 浩 編	医歯薬出版	総論 1977年 各論 1980年
参	現代小児歯科学 改訂5版	黒須 一夫 編著	医歯薬出版	1994年
参	小児の口腔軟組織疾患：診断アトラス	甘利 英一、武田 泰典 著	医学情報社	1995年
参	小児歯科学 第4版	高木裕三ほか 著	医歯薬出版	2011年
教	歯科臨床における画像診断アトラス	日本歯科放射線学会 編	医歯薬出版	2008年
推	口腔解剖学	脇田稔ほか 編	医歯薬出版	2009年
推	図説口腔解剖学 1～5巻 3版	上條雍彦 編	アナトーム社	2006年
	新口腔内写真の撮り方第2版	熊谷 崇 ほか著	医歯薬出版	2012年

## 成績評価方法

<p>講義、実習のいずれとも合格したものを合格とする。</p> <p>講義：すべての講義群①～③の試験成績 65 点以上を合格とする。欠席に応じて減点する。</p> <p>実習：実習評点 65 点以上を合格とする。</p> <p>印象、模型作製実習：実習過程で評価する。</p> <p>口腔診査・咬合診査・歯周チャート実習：実習過程で評価する。</p> <p>放射線実習：実習過程と実習試験で評価する。</p> <p>医療面接実習：知識（実習内容の理解）、技術（コミュニケーションスキル、情報収集）、態度（身だしなみ、歯科医師としての礼節のある行動、積極性）で評価する。</p> <p>講義；試験の成績で 65 点以上を合格とする。</p> <p>実習；すべての実習に出席し、すべての提出物を提出し、検印を受け、実習評価が 65 点以上を合格とする。 実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価の対象とする。</p> <p>なお、講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。</p> <p>講義と実習の両者が合格した場合を合格とする。</p>
--

## オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
三浦 廣行	A-i	月～金	12:00～13:30 15:30～18:00	不在のときはメモを教授室のポストへ入れること。
田中 光郎	B-i	月～金		
藤村 朗	A-i	月～金	随時	矢巾のため、メールにて対応 akifuji@iwate-med.ac.jp
工藤 義之	B-i	月～金		

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
八重柏 隆	A-i	月～金	17:00～19:00	不在の時はメモを部屋に入れる。
東海林理	B-i	月～金		不在の時は教職員に伝言のこと。
間山寿代	B-i	月～木		不在のときは教室員に伝言のこと
下山 佑	B-i	月～金		不在の時は教職員に伝言のこと。
平 雅 之	B-i	月～金		不在の時は教職員に伝言のこと。
成田欣也	B-i	月～金		時間があいていればいつでも可。 e-mail でも対応可 knarita@iwate-med.ac.jp
青村知幸	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
水城春美	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
熊谷章子	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
八木正篤	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
星 秀 樹	B-i	月～金	18:00～20:00	不在の時は教室員に伝言のこと。
佐藤雅仁	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
野村太郎	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言のこと。
飯塚康之	B-i	月～金		空いていれば随時，不在のときは教室員に伝言のこと
若林香枝	A-i	月～木	18:00～20:00	不在のときは教室員に伝言のこと
南健太郎	A-i	月～金	空いていれば 随時	不在のときは教室員に伝言のこと。メール連絡でも可 <a href="mailto:kminami@iwate-med.ac.jp">kminami@iwate-med.ac.jp</a>